



フォーシングパスについて

多くの方々とペアを組みますし、また他のペアのオークションを多くを横から見てきましたが、多くの方々の理解が非常に不足していると感じるものに「フォーシングパス」があります。これは競り合いのオークションにしか存在しないもので、あるシーケンスの中であるパスがフォーシング、つまりパートナーはそのままパスしてオークションを終わらせてしまっただけではないというものです。

例えば

(P) - 1 S - (P) - 2 NT (Jacoby)

(3 C) - 4 S - (5 C) - P *

(P) - ?

と回ってきてオープナーは、いくらライトオープンだったからと言ってパスをして、オークションを終わらせてしまっただけではありません。つまりレスポnderのパスは何か必ず言いなさいという意味でフォーシングというわけです。何を言えばよいかというと、特に言いたいものがないとすればダブルを言います。ダブルは、相手のスートにトリックがあり積極的にダウンさせるのがよいだろうと言っているのではなく、他に適切な言うものが無いという意味にしかありません。この例は明らかですが、あるパスがフォーシングになるかどうかは少し難しくなります。例えば次の例を見てください

(1)

(P) - 1 H - (1 S) - 2 S ;

(3 S) - 4 H - (4 S) - P ?

(2)

1 S - (P) - 2 C - (3 D) ;

3 S - (4 D) - P ?

最後のパスはフォーシングでしょうか、そうでないでしょうか？答えは一概には言えません。その前のビッドの定義に掛かっています。(1)の例では2 Sの強さがリミットレイズ以上としか定義されていないパートナーシップならばフォーシングとは言えませんし、(2)の例では2 Cがゲームフォーシングを示す2 / 1 GFシステムならば、フォーシングパスでしょうが、2 Cが単に10点以上しか示さないスタンダードシステムならノンフォーシングでしょう。一般にそれまでのビッドが示している到達すべきレベル以下のパスはフォーシングになります。昔からのビッドの常識として競り合いではビッドするのが一番強く、ダブルが一番弱い、そしてパスがその中間とされてきました。

先日も次のようなことがありました。

2 C - (5 C) - X

このダブルが一番弱い、例えば5 Cが入らなければスーパーネガティブで答えるようなハンドを示します。したがってパスは2 Cオープンに2 Dウェイティングレスポンスするよ

